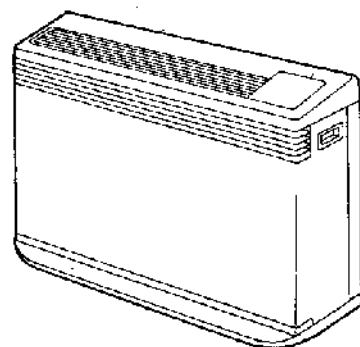
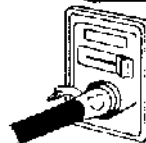
## 本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

| 名称 | 郵便番号 | 所在地 | 電話番号 |
|---|---|---|---|
| 本社・ガスビル サービスセンター | 〒541 | 大阪市東区平野町5丁目1 | ☎大阪 06(202)2221 |
| 南支社 | 〒557 | 大阪市西成区玉出東2丁目9番41号 | ☎大阪 06(652)0001 |
| 北支社 | 〒532 | 大阪市淀川区[illegible]3丁目[illegible]番35号 | ☎大阪 06(301)1251 |
| 堺支社 | 〒590 | 堺市住吉橋町2丁2番19号 | ☎堺 0722(38)1131 |
| 北摂支社 | 〒569 | 高槻市藤の里町39番6号 | ☎高槻 0726(71)0361 |
| 阪神支社 | 〒662 | 西宮市和上町4番11号 | ☎西宮 0798(26)3101 |
| 東部支社 | 〒578 | 東大阪市稲葉2丁目3番17号 | ☎河内 0729(62)1131 |
| 京阪支社 | 〒573 | 枚方市西田宮町16番17号 | ☎枚方 0720(41)1251 |
| 神戸支社 | 〒650 | 神戸市中央区相生町5丁目13番10号 | ☎神戸 078(576)5231 |
| 京都支社 | 〒504 | 京都市中京区烏丸通[illegible]町358 | ☎京都 075(231)8151 |
| 奈良支社 | 〒631 | 奈良市学園北2丁目4番1号 | ☎奈良 0742(44)1111 |
| 和歌山支社 | 〒640 | 和歌山市[illegible]町1丁目1－1 | ☎和歌山 0734(31)2481 |
| 姫路支社 | 〒670 | 姫路市神屋町4丁目8 | ☎姫路 0792(85)2221 |
| 東播支社 | 〒675 | 加古川市加古川町[illegible]29－1 | ☎加古川 0794(21)1801 |
| 豊岡支社 | 〒668 | 豊岡市三坂町5丁目57番地 | ☎豊岡 07962(3)2221 |
| 滋賀支社 | 〒525 | 草津市追分町字[illegible]660の1 | ☎草津 0775(62)5311 |
| 彦根支社 | 〒522 | 彦根市大東町12番11号 | ☎彦根 0749(22)3131 |
| 長浜営業所 | 〒526 | 長浜市南呉服町3番4号 | ☎長浜 0749(62)7171 |

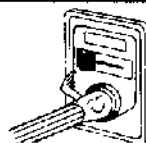
その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

**大阪ガス株式会社**

8807(00)

# ガスファンヒーター
# 取扱説明書

**43-745型**

保証書付

形式の呼び / RC-312DT-1 / RC-312DT-2 / RC-312DT-3

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合せください。

## ごあいさつ

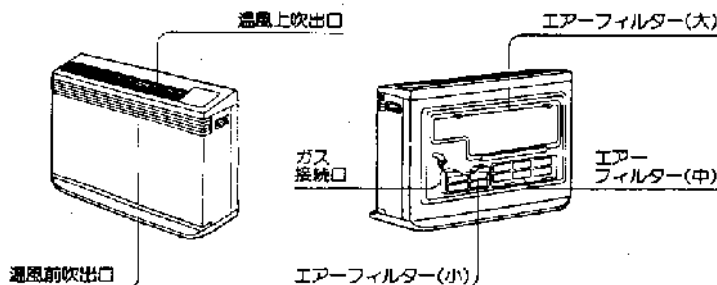
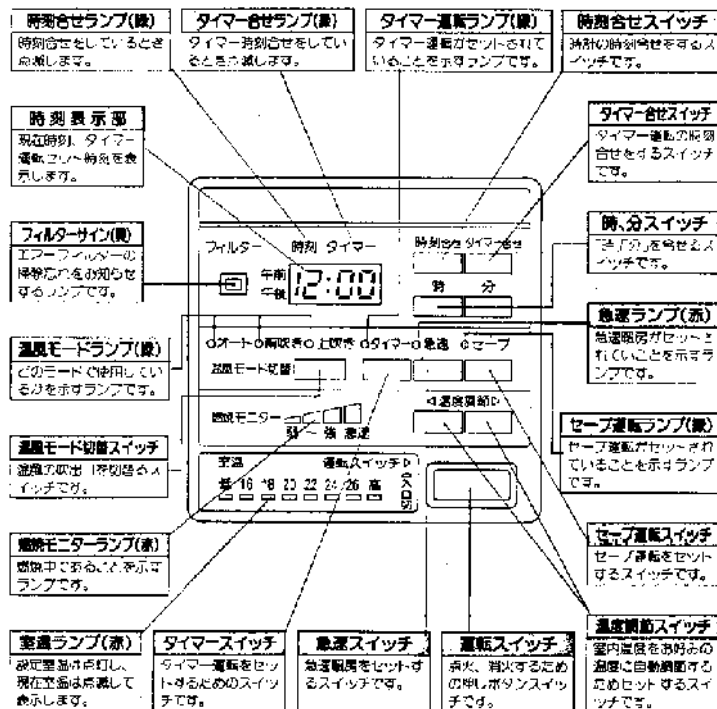
このたびは、大阪ガスのガスファンヒーターをお求めいただきありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保存してください。

## もくじ



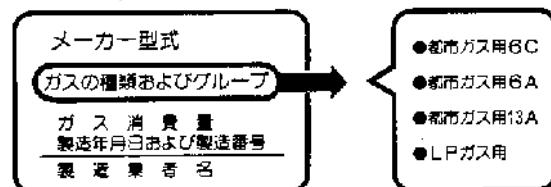
### 換気にご注意

この器具は、強制給排気式（ＦＦ式）ではありませんので換気が必要です。

# 特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

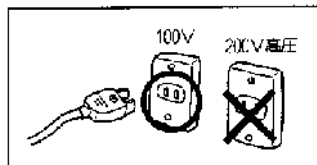
## 使用ガスについてのご注意

● **ガスの種類を確かめてください。**
ガス器具本体の右側面に貼ってある銘板（ラベル）に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。

（銘　板）

● **ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。**

● **転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。**

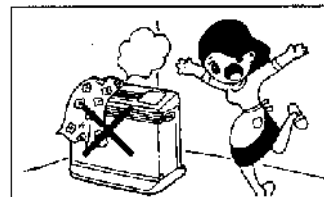
## 使用電源についてのご注意

● **電源の電圧と周波数を確かめてください。**
この器具はAC100V、50/60ヘルツ用です。
お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

**（ご注意）**
ガスの種類や電源の周波数が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となります。この場合に要する費用は保証期間内でも有料となります。

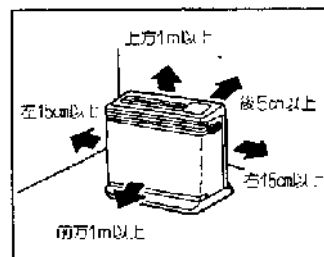




## 用途についてのご注意

● **暖房以外の用途（衣類の乾燥など）には使用しないでください。**
衣類などを器具の上に置いたりしますと、温風の出口や吸込口がふさがれてしまい、器具内に熱がこもり大変危険です。

## 使用場所についてのご注意

● 理・美容院、メッキ・塗装工場、繊維関係の工場など、スプレーや化学薬品を使用する場所およびほこりの多い場所でのご使用はおさけください。
器具の故障や腐食性ガスの発生により鏡、ガラスなどをいためる原因になります。

● 家具、壁、カーテンなど燃えやすいものや、引火性のものからは、十分に離してください。後の壁から5cm、横の壁から15cm以上、上方および前方1m以内に家具、建具などの障害物のない位置を選んでください。

● **強い風の吹き込むところでは使用しないでください。**
炎が風で消えることがあります。換気をするときにも、強い風があたらないようにご注意ください。

# 使用上のご注意

## ガス漏れ予防

- ガスの接続は、必ず大阪ガス指定のガスコード(13A地区)、(LP地区)または強化ガスホース(6C、6A地区)をお使いください。
- 一般のガス用ゴム管やガスコード・ビニル管は使用できません。

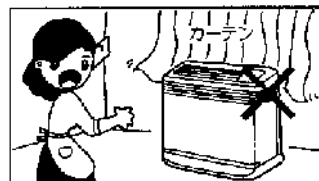
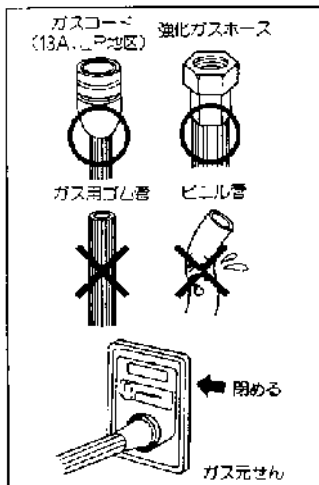
| 13A地区 | 13A用ガスコード(着脱式) |
| --- | --- |
| 6C·6A地区 | 強化ガスホース |
| LP地区 | LP用ガスコード(着脱式) |

- 使用後は必ず運転スイッチを「切」にし、消火したことを確かめてください。
- お出かけやおやすみの際には、ガス元せんも必ず閉めてください。(タイマー運転時はこの限りではありません。)
- 外出・就寝時には、必ず消火してください。

## タイマー運転による自動消火

- タイマーで運転を開始してから約4時間経過すると自動的に消火します。詳細は16ページを参照してください。

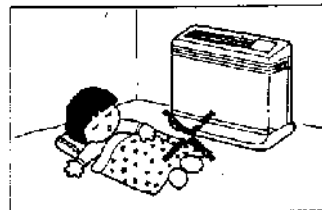
## 火災予防

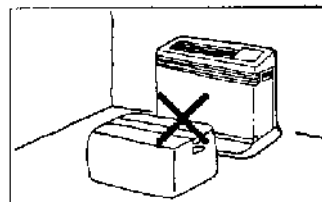
- 器具の上やそばに、燃えやすいもの(紙、カーテン、家具、揮発油など)を絶対におかいたり近づけたりしないようにしてください。また、紙、布、など可燃物を温風吹出し口や吸込口に入れないでください。火災のおそれがあります。
- ヘアースプレーなど引火物を、器具の近くで使用しないでください。炎は見えていませんが、引火するおそれがあります。
- 火をつけたまま器具を移動させないでください。
- 外出、就寝時には必ず消火してください。


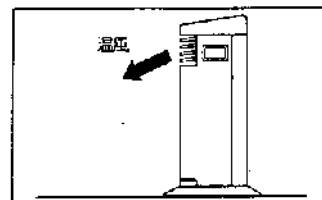



## やけどその他のご注意

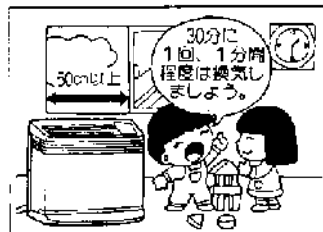
- ご使用中および使用直後は、温風吹出口とその周辺およびエアーフィルター部は熱くなりやけどのおそれがありますので、手を触れたりしないでください。また、温風吹出口に指をつっ込んだり、物を入れないでください。
  特に、小さなお子様がいるご家庭はご注意ください。また、小さなお子様が勝手に点火操作をしないようご注意ください。

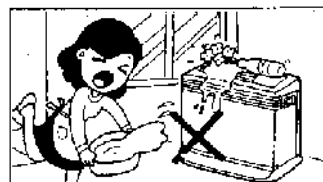
- 温風をじかに長時間お体にあてますとやけどのおそれがあります。特に乳幼児、お子様、お年寄り、病気の方などがお使いになるときは、周囲の方が注意してあげてください。

## 過熱防止

- 温風吹出口の前や上に物を置いたり、器具の後面(エアーフィルター部)をふさいだりしないでください。
  異常過熱して、器具に悪影響をあたえるばかりでなく、お部屋があたたまらないこともあります。

## 温風吹出口のご注意

- 温風吹出口のルーバーの角度を故意に変えないでください。床(カーペット等)が変色したり器具の故障の原因となります。掃除のときには、特にご注意ください。

## 特に注意していただきたいこと⑥

### 換気のご注意

- 使用中は30分に1回、1分間程度換気扇を回すか、窓を開けるなどして十分な換気を行なってください。
  この器具は強制給排気式（FF式）ではありませんので換気が必要です。

### 水ぬれのご注意

- 器具に水は禁物です。花びんをのせたり、水のかかる所で使用しないでください。
  内部が水でぬれますと、腐食することがあるばかりでなく、漏電・火災の危険があります。

### ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、ガス元せんを閉じ、窓や戸を全部あけて、ガスを外へ出してから、もよりの大阪ガス支社にご連絡ください。
- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり換気扇その他電気器具に触れたり（スイッチの入・切や電源プラグの抜き差しなど）しないでください。
  火や火花で引火し爆発事故を起こす危険性があります。

### 異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用をやめ（運転スイッチ、ガス元せんを止め）十分な点検をお願いします。
  （故障・異常の見分け方と処置方法については22ページをお読みください。）

## 日常の点検・手入れ

- 日常の点検・手入れは必ず行なってください。（詳しくは20ページをお読みください）
- 故障または破損したと思われるものは使用しないでください。不完全な修理は危険です。



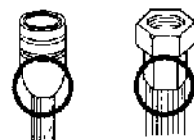
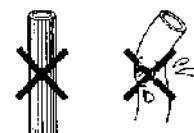
# 器具の設置

## 使用場所についてのご注意

- ご使用になる場合は、3ページの使用場所についてのご注意をお読みください。

## ガスの接続

- ガスの接続は、必ず大阪ガスの指定のガスコード（13A地区）、（LP地区）または強化ガスホース（6C、6A地区）をお使いください。
- 一般のガス用ゴム管やビニル管は使用できません。

| 13A地区 | 13A用ガスコード（着脱式） |
|---|---|
| 6C・6A地区 | 強化ガスホース |
| LP地区 | LP用ガスコード（着脱式） |

**〈ご注意〉**

- ガスコードや強化ガスホースの継ぎたし等はしないでください。
- ガスコードや強化ガスホースは器具に触れたり、器具の下を通したりしないようにしてください。
- ガスコードや強化ガスホースは他のお部屋から使用するお部屋まで延長したり、壁・天井などを通したりしないでください。
- 強化ガスホースの器具への取付けは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションに依頼してください。

# 使用手順

## はじめてお使いのとき

●はじめてお使いのときや、しばらく使用されなかったあとなどは、ガスコードや強化ガスホース内に空気が入っているため、すぐに点火しない場合があります。この場合は、点火操作後30秒程しても燃焼モニターランプ(赤)が点灯せずスパークが停止します。再度点火操作をくり返してください。

## 点火前の準備と確認

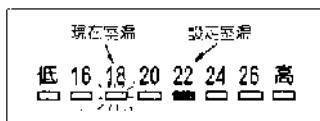
**●電源プラグを交流100Vのコンセントにしっかりと差し込んでください。**

〈ご注意〉
交流100V用コンセントであることを確認してください。200V等の場合、器具がこわれてしまいます。

●運転スイッチの「切」を確認し、ガス元せんを全開にしてください。

〈ご注意〉
ガス元せんが全開になっていないと点火しにくかったり、正常な燃焼ができなくなり、安全装置で消火してしまうことがあります。

## 点　　火

現在室温　設定室温
低 16 18 20 22 24 26 高

●点　　火
①運転スイッチを押し、「入」にしてください。
②同時に室温ランプが点灯します。現在室温は点滅表示をし、設定室温は常に点灯しています。
③2〜3秒後にスパークが始まりバーナに点火します。

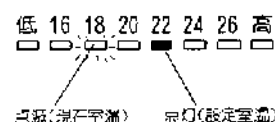




④点火後、数秒して燃焼モニターランプ(赤)が点灯するのを確認してください。

〈ご注意〉
温度調節スイッチでセットした温度よりも、室温の方が高い場合には燃焼しませんのでもう一度調節してください。

## 室温表示

**●設定室温と現在室温が一致した場合、ランプは1個だけ点灯します。**

●温度調節スイッチを操作しますと、ランプの点灯位置が変り、何度に設定されたかわかります。
左図では22℃〜23℃付近に設定されます。

●点滅をくり返しているところが現在の室温を示します。
左図の場合、18℃〜19℃付近であることを示します。

〈ご注意〉
ランプの示す温度は、感温部の温度ですので、必ずしもお部屋の温度とは一致しません。あくまでも目やすとしてお使いください。

**●暖房運転の開始**

点火後、1分程して、ルームサーモ（温度調節器）の働きによって、ガス量を自動的に増減コントロールすることによって運転状態が自動的に切りかわります。（自動的に行なわれ、手をふれる必要はありません。）

**（ご注意）**

室温および温度設定の位置によっては、強燃焼のままで切りかわらないこともあります。（室温が低いとき、温度設定が「高」側のときなど）

また、点火したあとやルームサーモ（温度調節器）が作動したあとおよび消火したあとに「チリチリ」と金属音がすることがあります。これは燃焼器部分の金属が膨張・収縮する際の音で異常ではありません。

## 温度調節

**●温度調節スイッチでお好みの温度に調節してください。（◁下げる、▷上げる）**

ルームサーモ（温度調節器）の働きにより、ガス量を増減コントロールして自動的に室温を一定に保ちます。

**●温度調節スイッチを操作しますと、室温ランプの点灯位置が変り、何度にセットされたかわかります。**

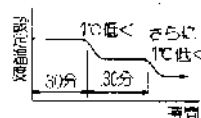
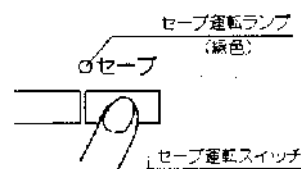
**（ご注意）**

温度調節スイッチのセット温度は、ルームサーモ感温部の温度です。部屋の温度とは必ずしも一致しません。あくまでも目やすと考えてください。





## セーブ運転

設定温度
1℃低く
さらに1℃低く
30分
30分
時間

**●セーブ運転スイッチを押してください。**

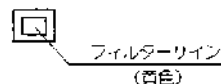
①セーブ運転ランプ（緑色）が点灯します。

②お部屋の温度が設定温度になるとセーブ運転システムが作動し、30分後に自動的に1℃温度をさげます。

③さらに、30分後に1℃温度をさげます。

④設定温度表示は、最初にセットした温度とかわりません。

## フィルターサイン

フィルター
フィルターサイン
（黄色）

**●運転中にフィルターサイン（黄色）が点滅する場合があります。**

これは エアーフィルター 、温風吹出口 にほこりがたまっていたり、障害物で温風の出口や、入り口が塞がれたりしているためです。

20ページの「お手入れ」の項を参照して、掃除をしてください。

**（ご注意）**

フィルターサインはほこりの掃除を促すためのランプです。安全装置ではありませんので、点滅しても器具は運転を停止しません。しかし、この状態のまま長く使用しますと異常過熱の原因となって運転が自動的に停止することがあります。

また、温風モードが「上吹き」の場合は、「前吹き」に比べてほこりの量などが、多くないと点滅しません。

## 急速運転

**●急速運転は、寒い朝一番にお部屋の温度を素早く暖めるために運転します。**
これは運転開始から15分以内に限って定格(表示のガス消費量)より大きな能力を出して運転するものです。(約15%アップ)

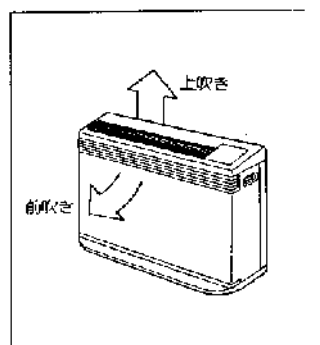
①急速スイッチを押してください。
急速ランプ(赤色)が点灯します。

②お部屋の温度が設定した温度より2℃以上低い場合、かつ運転開始から15分以内であれば急速運転を開始し、燃焼モニターの「急速」ランプが点灯します。

**〈ご注意〉**
急速スイッチ上方の急速ランプは、急速機能を使用するかどうかの選択の有無を表示しています。実際の急速運転は、運転開始からの時間や、お部屋の温度によっては実施しない場合もあります。
また、温風モード切替スイッチが「上吹き」モードになっているときは急速運転はしません。なお、急速運転は、一度終了すると再度運転はしません。1回の運転操作で一度だけです。再度急速運転を行ないたい場合は一旦消火し、再度点火操作が必要です。

## 温風モード切替

**●温風モード切替スイッチを押します。**
1回押すごとに「オート」➡「前吹き」➡「上吹き」の順に各ランプが点灯し切替ります。お好みのモードで使用してください。
「前吹き」モードは前側の吹出口から温風が出ます。
「上吹き」モードは上側の吹出口から温風が出ます。なお、「上吹き」モードでは、強、急速の燃焼はしません。

**〈ご注意〉**
温風モードが切替る際、風向切替用のモーターの音がします。「上吹き」モードで最初から運転するとお部屋が暖まるのに時間がかかる場合があります。


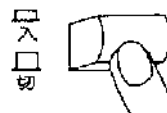



**●「オート」モードは、まず「前吹き」を行ない設定温度までお部屋の温度が上がって、約20分経過すると「上吹き」に自動的に切替るモードです。**
なお「上吹き」運転中にお部屋の温度が大幅に(設定温度よりも2℃以上)下がったり、設定温度を高くしたときは、「上吹き」から「前吹き」に切替ります。

**〈ご注意〉**
お部屋が大きすぎたり、天井が高い場合や外気温が低すぎる場合は、「上吹き」にならないことがあります。

## 記憶機能

**●設定温度、セーブ運転、急速運転、温風モード、タイマー運転時刻、時計時刻は、消火後も記憶しています。**
**また、2分～5分程度、電源プラグをコンセントから抜いたり、停電しても記憶しています。**

## 消　　火

①運転スイッチを押し「切」にしてください。

②各ランプ類は消えますが対流用ファンは、約2～3分間回転し続けてから停止します。機器内の温度が低くなるまで風で冷却しているためです。この間は電源プラグを抜かないでください。

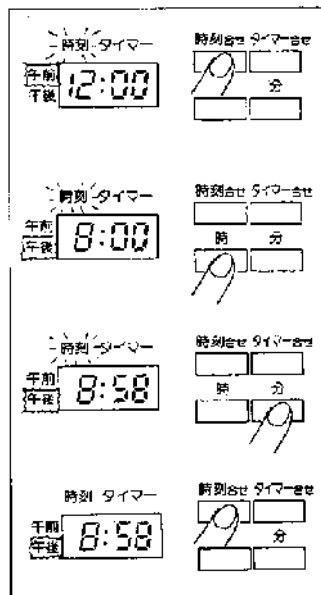
**〈ご注意〉**
使用中、電源プラグを抜いて消火したり、お部屋のガス元せんの操作による消火はしないでください。

**●消火後の再点火**
消火後すぐに再点火するときは、しばらくしてから行なってください。また必要以上に「入」・「切」をくり返さないでください。着火音が大きくなったり、器具が過熱することがあります。また使用中、誤って電源プラグを抜いて消火してしまった場合は、運転スイッチを「切」にしておいてください。

## 現在時刻の合わせかた

● 時刻表示部を時計としてお使いになるときおよびタイマー運転をするときは、つぎの手順で時刻を合わせます。
時刻を合わせなくても通常の運転には支障ありませんが、タイマー運転はできません。

### （例）現在時刻が午後8時58分の場合

1. 電源プラグをコンセントに差し込みます。
2. 「時刻合せ」スイッチを押します。
時刻合せランプが点滅し、時刻表示部が「午前12:00」を表示します。
3. 「時」スイッチを押して午後8時に合せます。
• 「時」スイッチを1秒以上押し続けると表示が連続してかわります。
4. 「分」スイッチを押して58分に合せます。
• 「分」スイッチを1秒以上押し続けると表示が連続してかわります。
5. 「時刻合せ」スイッチをもう一度押します。
• 時刻合せランプが消灯し、時刻合せの完了です。

## タイマー運転のしかた

● 寒い朝など、あらかじめお部屋を暖めておきたいときは、おやすみ前にセットしておくと自動的にセット時刻に運転します。

1. お部屋のガスせんを全開にします。
2. 時刻表示が現在時刻と合っていることを確認してください。
3. タイマー運転時刻をセットします。

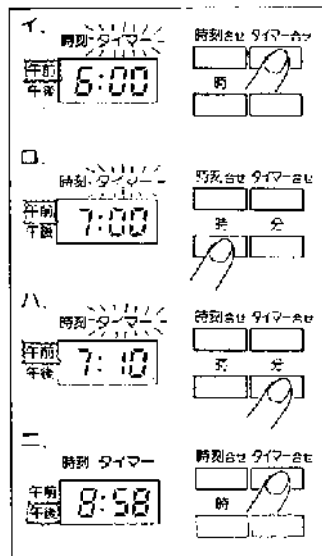
### （例）午前7時10分に運転を開始する（現在時刻午後8時58分）

イ. 「タイマー合せ」スイッチを押します。
• 時刻表示部に「午前6:00」が表示され、タイマー合せランプが点滅します。
• 次回からは時刻表示部に前回セットした時刻を表示します。

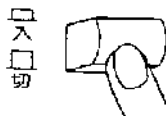
ロ. 「時」スイッチを押して午前7時に合せます。

ハ. 「分」スイッチを押して10分に合せます。

ニ. 「タイマー合せ」スイッチをもう一度押します。
• タイマー合せランプが消灯し、現在時刻が表示され、タイマー運転時刻合せの完了です。
• タイマー運転時刻は一度セットすると記憶されています。次回から同じ時刻に運転するときは、あらためてセットする必要はありませんので次の4～6の操作をします。
• タイマー運転時刻を変更したいときは、あらためてイ～ニの操作をします。

**（ご注意）**
およそ2分～5分以上電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときには、タイマー運転時刻の記憶は解除されますので、あらためてセットしてください。

## 4. 「運転スイッチ」を押して「入」にします。

- 温風ファンが回転し、燃焼が開始します。

〈ご注意〉
タイマー運転時の設定室温が22℃以下の設定のときは、その設定室温でコントロールします。24℃以上の設定でも自動的に22℃でコントロールします。

## 5. 「タイマー」スイッチを押します。

- 燃焼が停止し、燃焼モニター、室温表示部などは消灯し、タイマーランプ(緑)が点灯します。
- 「タイマー」スイッチは押すたびに「入」➡「切」をくり返します。「切」のときは通常運転にもどります。

## 6. セット時刻になると自動的に運転を開始します。

- 燃焼モニター、室温表示部などが点灯します。
- タイマー運転では危険防止のため運転開始1時間後に自動的に運転を停止します。
- 室温が22℃以上ある部屋の場合、タイマー運転は開始しますが、ルームサーモにより燃焼しません。

## 7. タイマー運転を開始してから50分経過するとタイマーランプが点滅し、もうすぐ自動的に運転を停止することをお知らせします。
**連続して使用する場合には「タイマー」スイッチを押してください。タイマーランプが消え、継続して使用できます。**

- タイマー運転で1時間経過し自動的に停止しますと、タイマーランプは50分以後の点滅のときよりも早い点滅になります。
- 再点火は運転スイッチを一度「切」にしてから再度「入」にしてください。

〈ご注意〉
タイマー運転開始前におよそ2分～5分以上電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときは、タイマー運転時刻の記憶が解除され、タイマー運転は開始されません。再通電したとき(時刻表示「12:00」と室温表示部が点滅します)あらためてセットしてください。





## 停電時の処置

**●停電時の処置**
停電になったときは、運転スイッチを「切」にし、ガス元せんを止めておいてください。

**●停電後の再点火**
ガス元せんを全開にし、通常の点火操作を行なってください。

〈ご注意〉
使用中停電になったとき対流ファンが止まるため、器体上部が過熱します。器体上部にふれないでください。(すぐに再通電したときは、対流ファンだけ回り過熱をふせぎます。)

**●雷時の処置**
雷時は安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

# 使用時のご注意

## 安全装置が作動したときの処置方法

〈ご注意〉 安全装置が作動したあと、点検して再点火しても、たびたび同じように作動をくりかえすような場合は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

| 安全装置 | 働き | 安全装置作動時の表示<br>室温ランプ | 原因 | 処置方法 |
|---|---|---|---|---|
| 不完全燃焼防止装置 | 不完全燃焼をする前に燃焼を停止する安全装置です。 | 低 16 18 20 22 24 26 高<br>「低」点滅<br>「フィルターサイン」点灯 | ガスが正しく燃えるためには、ガスの6〜10倍もの空気が必要です。しめきった部屋で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼して、一酸化炭素を発生する危険があります。エアーフィルターがつまっても同様です。 | 十分部屋の換気を行ない、エアーフィルター部の掃除を行なった後、再点火してください。 |
| 消火センサー（安全装置） | 使用中にバーナが消えた場合に安全装置が働き、生ガスの放出を防止します。 | | ガス元せんが開きたりなかったときや、強い風が吹いたときなどに作動します。 | 点検後、再点火してください。 |
| | 点火時、バーナに着火しなかったときなどに安全装置が働き、生ガスの放出を防止します。 | 低 16 18 20 22 24 26 高<br>「16」点滅 | ガス元せんが開きたりなかったときなどに作動します。 | 点検後、再点火してください。 |
| 転倒時ガス遮断装置 | 器具が転倒した場合、激しい衝撃が加わったときなどに作動して消火します。 | 低 16 18 20 22 24 26 高<br>「18」点滅 | 点火したまま、器具を持ち運んだり、器具に衝撃を加えた場合、また転倒した場合に作動します。 | いったん運転スイッチを「切」にもどし、再点火してください。 |
| ハイリミットスイッチ（過熱防止装置） | エアーフィルターが目づまりしたり、温風吹出口に障害物があったりした場合には器具内が異常に過熱します。この場合、自動的にガス通路を閉じ消火します。 | 低 16 18 20 22 24 26 高<br>「20」点滅 | エアーフィルターが目づまりしている。<br>温風吹出口に障害物がある。 | エアーフィルター部の掃除や、障害物を取り除いた後、しばらく（5〜6分）してから再点火してください。（電源プラグは対流用ファンが回っているあいだは抜かないでください。） |
| 過熱防止装置（温度ヒューズ） | 万一異常過熱したときに、温度ヒューズが切れて消火します。 | | 異常過熱状態になった。 | 器具を冷やしても再点火できません。修理が必要です。お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。 |
| 電流ヒューズ | ご使用中なんらかの原因で過電流が流れると、電流ヒューズが切れて、使用できなくなります。 | 低 16 18 20 22 24 26 高<br>全て消灯 | 電気回路がショートした。 | |
| 停電安全装置 | 安全装置が作動し、運転を停止します。停電後、再通電されても再点火しません。 | 低 16 18 20 22 24 26 高<br>（停電）全て消灯<br>低 16 18 20 22 24 26 高<br>（再通電）全て点滅 | 停電した。 | 停電中は必ず運転スイッチを「切」にもどし、ガス元せんを閉じておいてください。<br>17ページの「停電時の処置」をお読みください。 |

# 日常の点検・手入れ

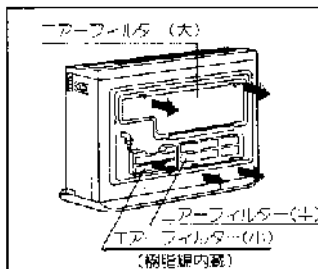
## 点検・手入れの際のご注意

点検・手入れについては、下記の日常の点検以外はお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社に依頼してください。
**点検・手入れ前には必ずガス元せんを閉じ、器具が冷えてから行なってください。**
また**電源プラグを抜いてから**行なってください。

## 点　　検

- ガスコードや強化ガスホースは、お部屋のガス元せんにきちんと差し込んであリますか。
- 電源コードがいたんでいませんか。
- 器具の近くに、紙・プラスチック・油類など燃えやすいものが置いてないか点検してください。

## お手入れ

- **エアーフィルターのお手入れ**
  エアーフィルターは1ヶ月に1回程度掃除してください。
  「フィルタ　サイン」が点滅するときは運転をとめてから、すみやかに掃除してください。フィルターにゴミやホコリがたまると風量が減って暖房効果が悪くなるばかりでなく異常過熱や安全装置の作動の原因になります。
  それぞれのエアーフィルターは、電気掃除機などでよく掃除してください。
  汚れのひどいときは、洗剤を使って水洗いした後、十分乾燥させてください。
  エアーフィルター(小)の中にある樹脂綿の水洗いはおさけください。

エアーフィルター(大)は、2コのボタンを手前に引くとはずれます。取付けは、下部のフィルター受けに差し込んでから、2コのボタンを取付穴に合せて押し込んでください。

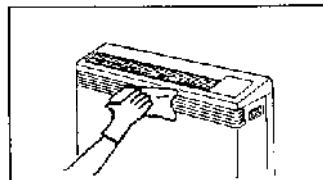
エアーフィルター(中)は、2ヶ所の取手を引っぱるとはずれます。取付けは、ツメ3ヶ所を差し込んでから、取手部分を押して取付けてください。

エアーフィルター(小)は、取手を手前に引くとはずれます。取付けるときは、中に樹脂綿を入れ、ツメ2ヶ所を差し込み取手部分を押して取付けてください。

## 器具外装のお手入れ

- やわらかい布をぬるま湯でぬらしてよくしぼってからふいてください。汚れがひどいときは、液状の洗剤を布にふくませて汚れをおとしてください。このときは、洗剤をよくふきとってください。

**(ご注意)**
金属たわし、みがき砂などは使用しないでください。またベンジン、シンナーなど揮発性のものは絶対に使用しないでください。キズがついたり、色があせたりします。特に上部のパネル、樹脂部にキズをつけないように十分ご注意ください。

- 温風吹出口に白い粉が付着することがありますが異常ではありません。
  器具が冷えてから、やわらかい布でふきとってください。また、強くふきすぎると吹出口のルーバーが曲がり、温風によって(カーペットなど)が変色することがありますのでご注意ください。

- 温風吹出口にほこりのつまりがひどい場合は、掃除機などでとり除いてください。

**(ご注意)**
温風吹出口のお手入れは、対流ファンが完全に止まってから電源プラグを抜いて行なってください。ファンが回転しているとけがをするおそれがあります。
また、エアーフィルターをはずした場合、器具内部には温度の高い部分があります。お手入れは器具が冷えてから行なってください。また使用中は必ずエアーフィルターをとりつけてください。使用中に器具内部に手をふれると、やけどや感電およびけがをするおそれがありますので、お子様などには十分ご注意ください。

# 故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

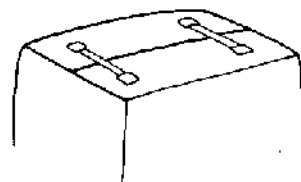
| 現象 ／ 原因 | 運転表示ランプが点灯しない | スパーク音がしない | 点火しにくい 点火しない(燃焼ランプが点灯しない) | ガスの臭いがする | 使用中に消火する(フィルターサインが点滅する) | 使用中に消火する(フィルターサインは点滅しない) | 異常な音をたてる(消えてしまう) | 部屋の暖まりが悪い | 処置方法 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 電源プラグが差し込んでない | ○ | ○ | ○ | | | | | | 電源プラグを確実に差し込む。 | 8 |
| ガスの種類が違う | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 本体右側面の銘板を確認してください。 | 2 |
| ガス元せんの開き忘れ・開き不十分 | | | ○ | ○ | | ○ | | ○ | ガス元せんを全開にする。 | 8 |
| ガスコード、強化ガスホース内に空気が残っている | | | ○ | ○ | | | | | 点火操作をくり返してください。 | 8 |
| ガスコード、強化ガスホースの接続が不完全 | | | ○ | ○ | ○ | | | | 確実に接続する。 | 7 |
| ガスコード、強化ガスホースが長すぎる。折れ曲がり、つぶれ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | 不具合を除き再点火してください。 | 7 |
| ガスコード、強化ガスホースのひび割れ・穴あき | | | ○ | ○ | ○ | | | | ガスコード、強化ガスホースを交換してください。 | 7 |
| 温度調節が「低」側になっている | | ○ | ○ | | | | | ○ | 温度調節の設定より室温が高いため「弱」燃焼あるいは燃焼を停止している。温度調節を高側にする。 | 9 |
| タイマー運転中で室温が22℃以上のとき | | ○ | ○ | | | | | ○ | タイマー運転中は自動的に22℃以下で室温をコントロールします。 | 16 |
| 室温が低いときにマニュアル上吹きモードで使用している | | | | | | | | ○ | オートモードか前吹きモードで使用してください。 | 12 |
| 換気が不十分である | | | | | | ○ | | | 30分に1回1分間程度換気する。 | 6<br>18 |
| フィルターがつまっている<br>吹出口に障害物がある<br>吹出口にほこりづまりが多い | | | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | 日常の点検手入れを実施してください。障害物を除き再点火してください。 | 5<br>18<br>20 |
| 点火(燃焼を開始)したばかりである | | | | ○ | | | | | 点火時、少し臭うことがあります。 | |
| スパーク装置の故障(コードはずれなど) | | ○ | ○ | | | | | | 点検修理を依頼する。 | |
| 安全装置が作動した | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | 点検修理を依頼する。 | 18<br>19 |

●処置方法や原因のわからないときは、お買い求めの販売店または大阪ガス支社へご連絡ください。



# 長期間使用しない場合

●各部の汚れを取り除き、ほこりなどの異物が入らないようにビニルをかけて、お求めになったときの箱に入れ、湿気やほこりの少ないところへ保管してください。特にガスの通路部分（ホースエンド）などにはほこりが入って通路をつまらせないように注意してください。保管場所は、高温になるところや、直射日光のあたるところはさけてください。

●なお、梱包の際は付属のバンドを下記の要領で使用してください。

# アフターサービスのお申し込み

## サービスのお申し込み

●22ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

(1) 品　名……(ファンヒーター)
(2) 品　番……左側面下部に貼付してあります。
　(例)

| (N) 43-745(U) |
|---|
| 大阪ガス株式会社 05 |

(3) 現　象……(できるだけ詳しく)
(4) 道　順……(できるだけ詳しく)

## 転居される場合

● **ガスには都市ガス13種類およびＬＰガスの区分があります。**
ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、お買い上げの店またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。
この場合調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

## 保証書について

● **この器具には保証書がついています。**
このファンヒーターは保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

## 点検整備のおすすめ(有料)

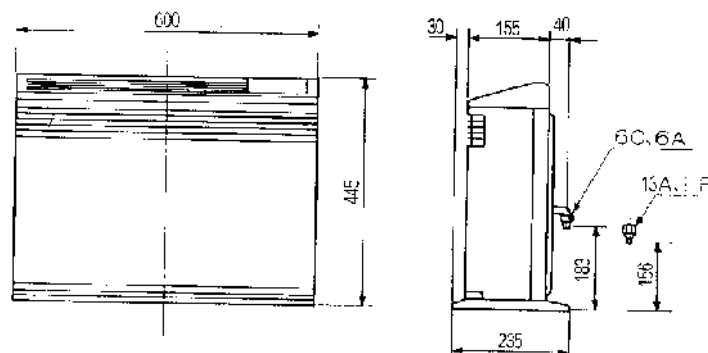
● 長期間、安全快適にご使用頂くために定期的に（3シーズンに1回程度）「点検整備」を受けられることをおすすめします。

●「点検整備」は、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご用命ください。（有料）

●「点検整備」の内容は、下記の通りです。
① 機能部品の点検、確認
② 清掃整備



# 寸法図と仕様一覧表

## 寸法図

| 種別 / 項目 | 43-745型 | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 都市ガス 6 C | 都市ガス 13 A | 都市ガス 6 A | LPガス |
| ガス消費量(kcal/h) | 3000 | 3000 | 3000 | 0.25kg/h |
| 暖房のめやす | 8~12畳（13~20㎡） | | | |
| 外形寸法(mm)（高さ×幅×奥行） | 445×600×155(ベース235) | | | |
| 重量(kg) | 14.6 | | | |
| 電気消費量(W) | 強 59W（運転スイッチ「切」のとき：約7W） | | | |
| 接続 ガス | 3/8インチネジ | 13A用小口径迅速継手 | 3/8インチネジ | LP用小口径迅速継手 |
| 接続 電気 | AC100V・50Hz/60Hz(電源コード長さ1.8m) | | | |
| 燃焼方式 | ブンゼン式 | | | |
| 給排気方式 | 開放式 | | | |
| 放熱方式 | 強制対流式 | | | |
| 点火方式 | 電線スパーク点火式 | | | |
| 安全装置 | ○消火センサー ○転倒時ガス遮断装置<br>○不完全燃焼防止装置(サーモカップル)<br>○過熱防止(温度ヒューズ、ハイリミットスイッチ)<br>○電流ヒューズ ○停電安全装置 | | | |

# 特　長

**1** 温風吹出口を自動的に前方と下方とに切替えることにより理想的な暖房がえられます。

**2** おはようタイマー付ですので、おめざめ前にお部屋を暖めることができます。

**3** セーブ運転機能をもっていますので、維持費の低下がはかれます。

**4** 比例制御により弱～強の無段階に燃焼を制御し、またお部屋の温度が高くなりすぎると自動的に運転を停止させる温調OFF機能を備えています。

**5** 換気不足や、フィルターほこりつまり時に、自動的に燃焼をストップさせる不完全燃焼防止装置付です。万一を考慮した安全設計です。

**6** お部屋を素早く暖める急速暖房機能を備えています。

**7** フィルターサインにより、エアーフィルターの掃除忘れをお知らせします。

**8** プッシュボタン式のワンタッチ点火と、見やすいパネル表示により操作も簡単です。



# MEMO

**おねがい**

ガスくさいときは、お部屋の元せんを閉め、窓を全開にしてから(火気に注意して)、大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。